

No.1

認知症の人から学ぶ
クリスティーン・ブライデン講演より



認知症の人から学ぶ

クリスティーン・ブライデン講演より

- パート1 (21分) 認知症ケアを理解したい人
- パート2 (16分) 研修会、家族会、介護教室、
- パート3 (19分) 地域住民への認知症啓発、
- 合計 (56分) 認知症介護実務者への研修

《内容》

クリスティーン・ブライデンさんは46歳で、アルツハイマー病と診断され、診断当初、彼女は3人の子供を抱えたシングルマザーで、オーストラリア政府の要職について多忙な日々を送っていました。彼女は告知を受けた2年後ポールさんと出会い結婚し、その後は夫のポールさんや家族に支えられながら暮らしています。

このDVDはクリスティーン・ブライデンさんの来日公演を中心に、46歳で認知症と診断された頃に彼女が体験したことや、認知症の進行過程で、その時々が必要と感じたケアなどについて、彼女自身の発言をまとめたものです

- パート1 認知症の旅がはじまった頃
 - パート2 認知症の人の体験
 - パート3 認知症の人から求められるケア
- ・家族会・介護教室・地域住民への認知症啓発に
・より認知症ケアを理解したい人のために

No.2

毎日ガ
アルツハイマー



毎日がアルツハイマー

(90分)

ドキュメンタリーの最高傑作です。

この映画は、日常の場面で認知症の人や家族が出くわす様々な出来事をユーモアたっぷりに描いています。

この映画を見るだけで、教科書を何冊読んでも分からない認知症の世界が分かります。

地域や中学校、また福祉施設で。福祉関係者だけでなく、介護されている方や、一般の方、ご家族にも幅広く観ていただける作品です。

《内容》

YouTubeで累計50万アクセスを集めた超人気動画が 長編ドキュメンタリー映画として完成しました。関口監督が認知症と診断された母と2年半にわたり向き合い、撮り続けた「長編動画」。29年間離れて暮らした母と娘。母のアルツハイマーが娘を日本に呼び戻し、今までのギャップを埋めるかのように母と寄り添う。感情豊かな母との「毎日がアルツハイマー」な生活は、泣き、笑い、時にせつなく…そしてまた笑う。関口一家の「毎日がアルツハイマー」な日々の物語です。



No.3



認知症の人の体験世界を感じてみよう

～認知症介護の原点として～ (30分)

- 介護者の視点
- 認知症の人の目線
- 認知症の人は何を感じているか

《内 容》

認知症であっても、一人ひとりを大切に、その人を中心の暮らしとケアを支えていくことが求められる時代になりました。私たちは認知症の人本人が体験していること、求めていることに気づいているでしょうか？ 同じ場面においても認知症の人は、思いがけない体験をしています。認知症に関わる原点として、認知症の人の目線に切り替えて、その体験を感じとることができます。

No.4



認知症の人の心を感じて

(24分)

～もし自分が認知症になったら～

認知症を抱える家族を支えるために

認知症の人の心を考えていますか？

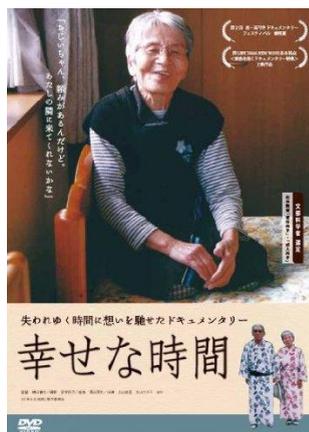
考えたことがありますか？

感じたことがありますか？

《内 容》

このDVDでは、認知症の人と家族のかかわりを、専門的な技術を持った人が演じています。家族は「嫁」「娘」「妻」の3つの事例でかかわり方を考えます。正しいかかわり方をみせる映像ではありません。視聴後に講座や研修で「認知症の人の心」について感じることを深めて下さい。

No.5



幸せな時間

～失われゆく時間に想いを馳せたドキュメンタリー～

《青年向き》・《成人向き》

○本編 72分

○特典映像 21分
〈トークショー〉

《内 容》

がんと認知症が発覚した一組の夫婦とその周囲の者たちの姿を見つめたドキュメンタリーです。孫娘が5年間にわたって撮影した祖父母の映像を、若い、介護、別れといったものだけを見つめるのではなく、そこから家族のきずなや人を愛することの尊さを浮かび上がらせていく温かな視線が、観る者の心をつかむ作品です。

